安全のため各種ご注意を守り正しくお使いください。

[設置地域に関するご注意]

●寒冷地（北海道、青森、秋田、岩手を中心とした次世代省エネ基準のⅠ地域、Ⅱ地域）および最低気温が−10℃を下まわる地域では寒冷地仕様機をご使用ください。（寒冷地仕様機の運転動作範囲は−20℃〜43℃です。それを下回る地域では、保護装置の作動、能力低下の恐れがあります）
●塩害地（海浜地区で潮風が直接当たる場所）では、機器が故障する恐れがありますので、耐塩害仕様機をご使用ください。
●温泉地帯など特殊な場所では、機器が故障する恐れがありますので、据付けないでください。

[水質に関するご注意]

●水質によっては、タンク、減圧弁、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなることがあります。特に温泉水、地下水、井戸水で使用した場合、通常の寿命は保証しかねます。（不具合等が発生した場合、無償保証はできません。）
●自家浄水システムの処理水を使用する場合、水質によっては故障の原因になりますので、必ず相談窓口にてご相談ください。
●硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤、浴そう洗剤や温泉の湯を使用しないでください。貯湯ユニットや配管が故障し、水漏れするおそれがあります。入浴剤・洗剤を使用する場合は、表示書きなどで成分をご確認の上、上記成分が含まれるものは使用しないでください。

[設置時に関するご注意]

●据付基準を守って据付けてください。
●降雪地区へ据付ける場合は、ヒートポンプユニット、貯湯ユニットに雪が入りこまないように据付けてください。
●ヒートポンプユニットは運転音や冷風が隣の家などの迷惑にならない所へ据付けてください。（特に隣家との境界線では、環境基本法第16条の規定に基づく騒音に係る環境基準及び都道府県の条例などを満足すること）
●ヒートポンプユニットはテレビ、無線機等のアンテナより3m以上離してください。
●給湯用水栓には必ず逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁のついていない湯水混合栓を使用した場合や給湯用水栓が故障した場合、給湯温度が低くなります。
●ウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃防止装置を取り付けてください。
●家庭用給湯機ですので船舶、車両へは取付けないでください。又、特殊（飼育物用等）には使用しないでください。
●動植物に直接風が当らない所に据えつけてください。動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
●給湯配管径が20Aより小さい場合はお問合せください。

[水配管・機材等に関するご注意]

●水配管工事は、水道工事認定業者が行ってください。
●沸き上げ中は貯湯ユニット逃し弁から膨張水（湯）が排出されます。必ず排水工事を行ってください。
●ヒートポンプユニットは運転時ドレン水が排出されます。排水工事を行ってください。
●水源水圧を減圧しているため、給湯圧が水源水圧よりも低くなります。
●水源水圧が500kPa以上の場合、減圧弁を追加してください。

[湯温・湯量に関するご注意]

●風呂保温・追いだき運転時は昼間もヒートポンプ運転を行うことがあります。
●リモコンの設定により昼間もヒートポンプ運転を行うことがあります。
●タンク内のお湯は放熱により少しずつ冷めます。
●湯水混合栓及び浴そう循環口からの出湯温度は、配管からの放熱により、設定温度より低めになることがあります。
●深夜沸き上げ時間帯に入浴などで多くお湯をご使用した場合、翌日、湯量不足になる場合があります。深夜のご使用時は満タン運転に切り替えてご使用ください。
●配管部材からの放熱で実際に貯湯する湯温は沸き上げ湯温より低くなります。
●お湯の使用量や使用条件により、実際に使えるお湯の量は異なります。
●外気温やタンク内の残湯量により沸き上げ温度は変化します。
●風呂保温時間が長い場合や、前日の残り湯を追いだきした場合、タンク内部の湯温が下がり、湯切れする恐れがあります。残り湯を少なくしてからふろ自動運転を行ってください。
●お湯の使用量が少ない場合、朝のリモコン残湯量表示が全点灯しないことがあります（省エネのため、全量を沸き上げない「部分沸き上げ」を行います）

[使用時に関するご注意]

●ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。
●浴室、シャワー、台所、洗面所などで2ケ所以上同時にお湯を使用すると、出湯量が少なくなることがあります。
●風呂自動運転中はジェットバスの使用はできません。お使いの際は風呂自動運転をお切りください。
●貯湯式給湯器ですので瞬間式給湯器と比べて連続して使用できるお湯の量には限りがあります。お湯の使用量が多いご家庭や湯切れをご心配される場合は貯湯量がワンランク上の機種をお選びください。湯切れをすると、お湯を沸き上げるまで時間がかかります。
●実際にご使用になる蛇口での湯温はリモコン設定した温度より低めになることがあります。
●入浴の際は、予め湯温を確かめてから入浴してください。湯温が高いと火傷の危険性があります。
●シャワーをお使いになるときは、まずお湯の温度を確かめてからご使用ください。
●浴そうアダプターの付近でもぐったりすると、髪の毛が吸い込まれて事故につながる恐れがありますので、ご注意ください。
●台所リモコンは防水タイプではありませんので、水をかけないようご注意ください。故障の原因となります。
●浴室リモコンは防滴タイプですが、故障を防ぐためなるべく水をかけないでください。
●そのままの飲用はお避けください。長期間のご使用によってタンク内に水垢がたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わっていることがあります。飲用される場合は以下の点に注意し、必ず沸騰させたものをご使用ください。
・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている）は、雑用水としてご使用ください。
・固形物や変色、濁り、異臭等がある場合には、飲用せずに直ちに据付け工事店（販売店）へ点検を依頼してください。
●お湯を上手にお使いください。1日に使用できるお湯の量には限りがあります。洗いもの時やシャンプー時の流しっぱなし等に注意し、こまめに止めてください。
●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず取扱説明書をお読みください。そのあと大切に保管してください。

「タオルや浴槽が青くなる」現象について

給湯機の配管には銅管が使われており、この銅イオンと石鹸の脂肪酸や皮脂が反応すると青色の不溶性銅石鹸が生成され、浴槽の周囲などに生成付着して青ばむことがあります。使用地域の水質によっても同様の反応が起こり、薄青くなることがあります（井戸水や簡易水道での使用時に比較的起こりやすい現象です）。また銅と空気と水の反応で、塩基性炭酸銅（緑青）が銅管表面に発生することもあります。なお、緑青・不溶性銅石鹸はいずれも無害です。

《対処》●タオルの場合/70〜80℃のお湯に食用酢を混ぜて10〜15%の溶液を作り、浸け置きすれば色が落ちます。●浴槽やタイル目地の場合/台所洗剤をつけてスポンジでこすり落としてください。（推奨品:台所掃除用マジックリン）また、こまめな清掃により湯垢がつかないようにすれば防止できます。

[電気料金・保証に関するご注意]

●時間帯別電灯契約の種類によって、時間帯と電気料金単価が異なります。
●深夜電力契約でのご使用はできません。
●リモコンの設定時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。
●上記内容及び取扱説明書・据付工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても無償保証の対象外となります。
●保証期間はお買い上げ日から1年間、ただし冷媒部分については3年間、缶体は5年間です。

■定期点検

●少しでも長くお使いいただくために取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
●減圧弁、逃し弁は消耗部品です。

[ガス機器から電気機器への設置変更に関するご注意]

●ガス機器から電気機器へ設置変更を行なう場合（ガス給湯器からエコキュートへの取替えなど）は、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
●ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。設置変更日の1週間前までにガス事業者への連絡が必要です。